



人類に  
奉仕する  
ロータリー

# 藤沢東ロータリークラブ 週報

2016~2017 Rotary Club of Fujisawa East



- 会 長/石田能治 幹 事/林葉之 例 会/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/藤沢市南藤沢 4-2 吉田ビル 5 階 TEL 0466-41-9191 FAX 0466-41-9192
- 例会場/湘南クリスタルホテル藤沢市南藤沢 14-1 TEL0466-28-2111 FAX0466-28-2126

ROTARY SERVING HUMANITY



## 第 1943 回例会 2016 年 9 月 20 日 (火) (天候) 雨 No.10

点鐘  
開会

クリスタルホテル 5F「ボンヌチャンス」  
Bonne Chance

ロータリーソング:「それでこそロータリー」

ゲスト・スピーカー・ビジター紹介

ゲスト・スピーカー

横田和道様 (藤沢警察署副署長)

ビジター 中井泰彦様 (東京上野 RC)

バナー交換 なし

会食・懇談

-会長報告-

・先日の「ロータリーのタベ」は本当にありがとうございました。盛大にできました。

理事会報告

・新事務所については週報にて皆様にお知らせすることに決まりました。

・10/25 (火) 親睦旅行を三島 (米山梅吉記念館等) へ日帰りバスツアーで行くことに決まりました。親睦・米山委員会共同旅行です。予定詳細は水川親睦委員長の方で纏めている最中です。

・ロータリー財団の 100 周年記念として 1 人当り 250 円を公共イメージ向上協力金として寄付を出していくことになりましたので、ご協力の程よろしくお願い致します。

・インターアクトについて 1 人当り 1,500 円を出していくことになりましたので、合せてご協力をお願い致します。

・9/24 (土) 藤沢市民祭りにおいてポリオ撲滅の街頭キャンペーンを行います。先日田島 AG から連絡がありました。RI 会長代理の舟木いさ子様 (第 2570 地区パストガバナー、東京白金 RC) がかながわ湘南 RC の例会出席後、藤沢市民まつりのポリオ撲滅キャンペーンに参加される予定となりました。2780

地区の地区大会の下見を兼ねているため、第 3 グループとして頑張っているところを示していきたいのでご協力の程よろしくお願い致します。

・9/29 (金) の新会員の集いですが、今回は対象の方々が都合により不参加となりました。12/9 にも開催されますのでまたご案内致します。

・ステファノ学園に本 (図書券) の寄付として社会奉仕委員会より 5 万円の図書券を寄付することに理事会にて決定しましたので、よろしくお願い致します。

-表彰&特別挨拶- なし

-幹事報告-

・本日 18:30 から事務局において親睦委員会を開催致します。親睦委員会のメンバーの方はよろしくお願い致します。

-委員会報告-

・出席報告 出席委員会

・スマイル報告 スマイル委員会

-会員&配偶者誕生日-

会員誕生日 なし

配偶者誕生日 なし

-卓話-

防犯講話「藤沢署管内の治安情勢等」

藤沢警察署副署長 横田和道 様

点鐘  
閉会



出席報告

例会月日	総員 (名)	出席 (名)	欠席 (名)	出席率 (%)	メークアップ (名)	修正出席率
9月 6日	34 (30)	21	6	70.00	1	73.33
9月20日	34 (30)	22	7	70.00		

村木スマイル委員長



【石田能治 会長】

横田副署長様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

【林葉之 幹事】

横田副署長様 本日はお足元の悪い中、当クラブへの卓話にお越しいただき、ありがとうございます。本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願ひ致します。

【加藤信忠 会員】

片岡さん、おめでとう。大変心配していました。よかったね。

【本田昌子 会員】

警友会ではお世話になっております。本日は、御指導をかねたお話を楽しみに致しております。

【須藤修司 会員】

横田副署長 本日の卓話よろしくおねがい致します。

【入澤初子 会員】

横田副署長 足元の悪いなか、よくおいで下さいました。卓話よろしくおねがい致します。

【田中繁 会員】

横田副署長様 本日は足元の悪い中ありがとうございます。卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。

【吉田新一 会員】

片岡さん、お帰りなさい！2週間遅れての挨拶です。横田副署長様、本日は宜しくお願ひ致します。

【村木薫 会員】

横田副署長 卓話楽しみにしております。

【竹澤禎浩 会員】

横田様、いつも防犯で御世話になっております。今日の卓話よろしくお願ひ致します。

【和田江理佳 会員】

横田副署長お話し楽しみにしております。

出席報告

狩野副委員長



水川親睦委員長



「先日のロータリーのタベありがとうございました。おつかれさまでした。」

入澤プログラム委員長



「横田副署長の奥様とは子供の頃からのお付き合いをしまして、その御縁もあり、今回横田副署長へ卓話の御願ひをしました。本日はよろしくお願ひ致します。」

ゲストの中井泰彦様（東京上野RC）



-卓話-

## 「藤沢署管内の治安情勢等」

藤沢警察副署長 横田和道 様



藤沢東ロータリークラブの皆様方には、平素から警察行政全般にわたり、温かいご支援、ご協力をいただいておりますことに、まずもって心から感謝申し上げます。

また、今回このような機会を与えていただきました入澤様には公私にわたり大変お世話になっており、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

少し時間をいただき、自己紹介させていただきますと、私は現在51歳で、東京オリンピックが開催された昭和39年生まれです。

警察官を拝命後は、定番の交番勤務を経て、機動隊を3回ほど、本部外事課では自衛隊員のスパイ事件捜査などに従事しました。機動隊の小隊長時代は、オウム真理教事件警備のため、2週間のローテーションで数ヶ月間、山梨県の上九一色村に派遣され、サティアンから出てくる信者の検問等の警備をしていました。

その後は、神奈川県庁へ出向したり、県議会担当者として県内選出の県会議員との連絡調整、広報官として報道対応に当たるなど、警察官の本来業務とはほど遠いような仕事、でもいい経験をさせていただきました。

出身は横浜市金沢区ですが、現在は横須賀市内で妻と3人の子供と暮らしております。

その横須賀市が人口で藤沢市に抜かれ、若干寂しい気分ではありましたが、昨年の夏に藤沢署に異動して感じたのは、地理的なものや交通機関を含む各種インフラの整備状況を見るにつけ、本当に住みやすい街なのだと実感しております。「幸せに暮らせる街ナンバーワン」を維持するには治安の良さも一つの条件だと思いますので、警察としてもしっかりと対応していきたいと考えております。

本題に入る前に、若干、藤沢警察署についてご説明させていただきます。

藤沢警察署は明治5年に本町4丁目にある常光寺に「ら卒屯所」が設置されたのが始まりだそうです。藤沢警察署と呼称されたのは明治10年からで、様々な変遷を経たのち、昭和29年の警察法改正により神奈川県藤沢警察署と改称され、昭和39年に現在の本鵜沼に移転しました。平成元年には現在の庁舎が完成しておりますが、エレベータが設置されておらず、優しくない警察署です。来庁される方にご不便をおかけして申し訳ありません。

管内は、藤沢市の35パーセント、概ね国道1号線の南側の、約25平方キロを管轄しており、交番12箇所、駐在所3箇所、署員は約300人です。

ここで、今日ご出席の方の中で110番通報したことのある方はいらっしゃいますでしょうか？

110番通報されると、一旦、警察本部の通信指令課で受理し、藤沢警察署だけでなく、近くにいる機動捜査隊や本部所属のパトカーにもリアルタイムで情報を伝え、1秒でも早く多くの人員を現場に向けるシステムとなっております。通報を受理する係員は淡々と「事件ですか、事故ですか、あなたのお名前は」と聞いてきます。冷たいなあとお感じになるかもしれませんが、これはあえての対応です。通報される方で落ち着いている人はまずいません。通報者の方に冷静になっていただき、正しい情報を早く聞き取り、警察官をいち早く現場に向かわせるためのもので、決して口下手だったり、性格が悪いわけではありませんので、ご理解をいただきたいと思います。

その110番ですが、神奈川県でどのくらいの件数があると思いますか？

→ 1日平均で2400から2500件の通報があります。年間にすると約90万件になります。

藤沢署管内はどのくらいかと言いますと、1月から8月末までの110番通報件数は、約9500件で、そのうち約7000件に現場臨場しております。現場にいかない110番は、臨場不要と判断されたもので、道を聞いたり、免許更新などの各種手続きの問い合わせ、いたずらなどです。

当署管内7000件の内訳としては、約半数が交通事故や駐車苦情です。また、最近の藤沢署管内での特異な通報内容としては、

○ 親族で集まりがあったが、誰がお皿を洗うかでもめているので、警察で何とかしてほ

しい。

- 雀が家の中に入り込み、出て行かない
- 玄関ドアの鍵が錆ついてドアが開けられない

など、不要不急の通報内容が多く寄せられています。

さらに、最近、江の島がポケモンGOのレアアイテムが入手できるポケストップとして有名となり、昼だけでなく、深夜の島内に数十人がスマホ片手にうろつく異様な光景が見られ、迷惑通報が数多く寄せられています。

- ちなみにですが、県内のほかの署では、
- マジシャンが手品の練習中に、自分の体を縄で縛ったところほどけなくなったので助けてほしい
- 結婚式で流すビデオを作成するために、花嫁をさらうシーンを撮影中に拉致、逮捕監禁事件と間違われて通行人が通報し、大騒ぎとなり、県内で緊急配備をかけた

など、笑うに笑えない通報もありました。

なお、110番通報があると、警察官を必ず現場に派遣しています。本当に必要としている方のため、緊急以外にの要件は藤沢署の加入電話「24-0110」に電話をいただきたいと思います。

それでは、本題に入らせていただきます。本日は「管内の治安情勢等」についてお話をさせていただきます。

まずはじめに、平成28年8月末時点の当署管内における犯罪の発生状況等からお伝えいたします。

当署管内における刑法犯認知件数は約1000件になります。この件数は、簡単に申しますと、警察に届出があった被害届の総数とお考え下さい。

昨年と比べますと、認知件数自体は若干の減少傾向にありますが、増加している犯罪としてはひったくりや器物損壊となっており、逆に減少傾向にあるのは、自転車やオートバイなどの乗り物の被害です。とはいえ、自転車を盗まれる被害は後を絶ちません。犯人は、継続的に使うために盗むよりも、「歩くのが面倒だから近場にある自転車を足代わりに」という動機で盗むことが多いことから、自宅敷地内でも鍵をかける、さらにはワイヤーロックなどを使ってダブルで施錠するなどして盗難防止対策を図ってほしいと思います。

本日は、時間の関係もありますので、皆さま方に是非知っておいていただきたい何点かに絞ってお話をさせていただきます。

1つ目は「ひったくり被害の防止について」です。今、ご紹介した犯罪の中で、増加している犯

罪であるひったくりの被害を防ぐために心掛けて欲しいことがございます。

このひったくりに遭うパターンとしては、被害者が路上を歩いているときに、後ろから自転車やオートバイで近づいた犯人が、手で持っていたカバンや肩に掛けていたカバンを奪い取って逃げていく方法が多く発生しています。被害者が自転車の場合も有りまして、この場合は前かごに入れておいたカバン等を持ち去られるケースが多いです。

そして、ひったくりの被害者はほとんどの場合、女性です。その理由ですが、女性は財布をカバンに入れて持ち歩きます。一方、男性は財布をズボンや上着のポケットに入れて持ち歩くことが一般的と言えます。

女性のカバンをひったくれば、カバンの中には財布が入っている可能性が高いと犯人は考えているからです。

ここで、なぜ、ひったくりの犯人が後を絶たないかを考えますと、簡単に実行できて、捕まりづらい犯罪であるからだと言えます。更に言うなら、利益も大きいと言えます。例えば、財布の中に3万円位の現金が入っていたとします。犯人は犯行に費やす僅かな時間でこの現金を手に入れることが出来ます。犯人からしてみれば費用対効果が大きいと言えるんですね。

次に、ひったくりの被害を防ぐ方法ですが、「道路を歩くときは車道と反対側にカバンを持つ」、「ショルダーバックは斜め掛けにする」、「自転車の前かごにカバンを入れるときは前かごをネットで覆う」ことを実践していただきたいと思います。

言われてみれば、なんだそんなことかと思われるかも知れません。ですが、この簡単な事を常に心掛けることによって、被害に遭う可能性は大きく下がります。

犯人からしてみれば、いかに楽に簡単に利益を上げるかを考えていますので、ひったくり犯の場合は必ず、狙いやすいような被害者がいないか、被害者を物色します。用心している方からひったくろうとする犯人はまずいないと言っていると思います。

ひったくりの被害に遭うと、身分証明、携帯電話、家の鍵など個人に結びつく物の全てが奪われます。再発行や家の鍵を替えたり、さらには後で犯人が家に来るのではないかという恐怖もあり、二次的被害の大きさは想像を絶するものがあります。

是非、今申し上げた防止策を実践していただき、注意力を持ち続けていただきたいと思います。

続きまして、2つ目として「空き巣の被害防止について」です。

空き巣に関する発生状況ですが、当署管内におきましては、8月までに37件の発生がありました。

さて、空き巣という犯罪につきましては、警察においては、「家人等が不在の住宅の屋内に侵入し、金品を窃取するもの」と規定されています。この不在時の対策が被害の防止につながります。

そこで、空き巣の防止方法ですが、まず、戸締りをしっかりとすることをお願いします。ゴミ出し等の少しの間でも必ず鍵を掛ける事をお願いします。

次に、空き巣の侵入方法として、窓ガラスを割って住宅に侵入する方法があります。これを防ぐために、ガラス破りが困難なガラスを使用する、既存のガラスに防犯ガラスフィルムを貼って、防犯性能を高める、シャッターサッシを設置する、窓のクレンセント錠には補助錠を設置するなどが有ります。

また、留守であることが悟られないように、郵便受けには新聞や郵便物を溜めない心掛けも必要です。

そして、空き巣の犯人は、音や光、人の目や防犯カメラを嫌います。ご自宅に侵入されないように、音が出たり、光を発したりするような仕掛けを設置することも有効ですし、また、防犯カメラのせっついも有効だと考えます。そして、近隣の方との気軽な挨拶をすることも大切な防犯の手段です。

3点目は「振り込め詐欺」の話しをさせて頂きたいと思います。

振り込め詐欺の被害に遭う方のほとんどが高齢の方です。振り込め詐欺は、これまで身を粉にして一生懸命働き、その対価として蓄えたお金を一気にむしり取ってしまう卑劣な犯罪であります。警察としては、1件でも発生しないよう、金融機関等と連携して様々な対策を講じておりますが、なかなか被害が収まりません。

まず、8月末までの振り込め詐欺の発生状況ですが、神奈川県内におきましては、被害件数744件で被害総額は27億円となっており、昨年同期比で件数、被害額共に増加傾向にあります。

では、藤沢警察署管内の被害状況はどうかと言いますと、被害件数14件、被害総額約7000万円で、件数は減っていますが、被害額が約2倍近くに増えています。これは1件における被

害額が昨年と比べ多いことが原因となります。

次に、振り込め詐欺の手口についてご説明します。一番多いのは、息子さんやお孫さんを騙って電話してくるという手口の、いわゆるオレオレ詐欺になります。

犯人はまず、最初に息子さんやお孫さんということ信じさせるために、「携帯電話を落として、番号変わったから今使っている番号をメモしておいて」等と電話をします。

この時の電話では、犯人はお金のお話をしないことが多いです。それは、携帯電話の番号が変わったことを被害者に印象付けて本当の息子さん、お孫さんに連絡させないようにするのが狙いだからです。

そして、2回目以降の電話でお金を渡すように言ってきます。よくある騙しの文句として、「俺、会社のお金を使い込んでしまったんだけど、お金を準備してもらえないか」等と言ってお金の要求をします。

その後、息子さん、お孫さん役の犯人は、警察に遺失物届を出すとか重要な会議があるなどと本人がお金を取りに行けない理由を付けて上司、部下、弁護士などになりすました犯人にお金を取りに行かせるので、この者に手渡すようにと言ってきます。現金の受け渡し場所についても、自宅に限らず、駅や公園等、場所を転々と指定し自宅から遠く離れた場所を指定することもあります。

そこで犯人に現金を手渡し被害に遭ってしまう結果となります。

また、その他に、警察官を名乗り、あなたの預金口座が犯人グループに狙われている、口座からお金を引き出して下さいと語る手口、マイナンバー等の個人情報が出てくるから対応するのにお金がかかると語る手口があります。

最近市内で多いのが、市役所等から医療費の還付金があるのでATMで返金の手続きをしましょうと語る還付金詐欺です。

市役所等ではATMを使用した返金の手続きはしていません。ATMで返金手続きを行うと言われたら間違いなく還付金詐欺と考えて下さい。

振り込め詐欺に対する有効な対策ですが、自宅の電話を留守番電話の設定にすることが有効です。

犯人は、手に入れた名簿を元に無差別に電話を掛けています。留守番電話の家庭にしつこく電話を掛ける事はあまりないようです。皆さまのところにも、振り込め詐欺の犯人から電話が掛かってくる可能性があり、「自分だけは大丈夫

夫」という思いは禁物です。

留守番電話の設定にして犯人からの電話そのものを防ぎましょう。

また、最近、管内では不審者情報が寄せられています。登下校の途中や放課後に遊びに行く小学生に「虫が付いているよ、取ってあげる」などと声をかけ、体を触るなどの被害が発生しています。

・年齢は20代から30代の短髪の男です。自転車に乗っているときもあるようです。

不審な人物を見かけましたら、通報をお願いするとともに、お知り合いに小さなお子さんがいらっしゃる場合は、「最近、こんなことが起きているらしいので、気を付けて」、「危険を感じたら大声を上げたり、防犯ブザーを鳴らすよう」と一言、注意喚起をお願いします。

さいごに、本日ご出席の皆さま方の多くが経営者として活動されていることと思います。そこで、どうしても何らかのかかわりが出てくる「反社会的勢力、いわゆる暴力団」の問題があります。

まず、最近の全国の暴力団の情勢についてですが、昨年8月末、日本最大勢力の暴力団組織である「六代目山口組」の一部が離脱して「神戸や山口組」を立ち上げました。

その後、全国各地で両団体による対立抗争事件が発生し、全国警察では両団体の組織弱体化を目指し、日々暴力団員の検挙と情報収集に努めております。

これまで、神奈川県下でも、これに関連したと思われる事件が数件発生していますが、大きな抗争事件等、目立って大きな事件などはありません。

しかし、暴力団は、近年、伝統的な資金獲得活動（賭博、ノミ行為、みかじめ料の徴収、覚醒剤の密売など）や民事介入暴力、行政対象暴力等に加え、その組織実態を隠蔽しながら、建設業、不動産業、金融・証券市場へ進出して、企業活動を偽装した一般社会での資金獲得活動を活性化しています。

企業を取り巻く反社会的勢力は、機関誌（紙）の購読、下請け参入、広告料、賛助金、寄付金等

あらゆる名目で不当な要求を行ったり、事故、トラブル、不祥事等を理由に因縁をつけた企業からの資金の獲得を狙っています。

暴対法の改正により、「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」が示され、

指針では、反社会的勢力による被害を防止するための基本五原則を掲げています。その5つとは

- ・企業が組織として対応する
- ・外部専門機関との連携を図る
- ・取引を含めた一切の関係を遮断する
- ・有事における民事と刑事の法的対応を行う
- ・裏取引や資金提供を行わない

です。是非、この5つの指針を気に留めていただきたいと思います。

企業活動を行う中で、暴力団などの反社会的勢力からの不当要求があった場合は、すぐに最寄の警察署に相談してください。

また、警察本部暴力団対策課内にも

暴力団からの不正要求に関する相談窓口  
事業活動における暴力団排除等に関する相談窓口

が設置されており、電話でも相談を受けつております。

今の暴力団は、昔の任侠の時代から大きく変わり、金、カネの組織となっています。いかに金を上納するかで自分の出世がかかっています。上納できず、空き巣やひったくり、振り込め詐欺に手を染める組員が多くいることも時代ならではのかもしれません。

甚だ簡単ではございますが、本日、私が申し上げましたことを、今後、犯罪被害に遭わないための参考としていただければ幸いです。

今後も全署員が一致団結して、藤沢にお住まいの方、藤沢をおとずれるすべての方が安心して過ごしていただけるよう、労苦を惜しまず、奮励努力する覚悟であります。

藤沢東ロータリークラブの皆様方には、今後とも警察のご協力をお願いすると共に、皆さま方の今後の発展を祈念いたしまして、私の話を終わらせていただきます。

本日はありがとうございました。

